

かわむら **こども** クリニックNEWS

Volume 22 No 10

255号

平成26年10月 8日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255

HOME PAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

院長の忙しさ自慢? 2014

院長

昨年(2013)の11月号に「院長の忙しさ自慢?」をテーマに、一面記事を書きました。診療、小児科医会長、執筆、行政との係わり合いの忙しさを、自慢風に愚痴ともつかない記事にしました。

ところが最近、あの時期は暇だったと言えるぐらいの忙しさなのです。フェイスブックをご覧になっている方はおわかりかと思いますが、忙しさの要因は仙台市医師会理事に就任、第25回日本外来小児科学会年次集会の会長を仰せ付けられたことです。

すぐく見にくいとは思いますが、“百聞は一見にしかず”のことわざのように9月のカレンダーを載せてみました。細かいところは抜きにして、35日間で埋まっているのは9日間で、複数以上の予定が入っているのは8日間で、延べにすると35回のイベントが入っているという具合です。平均すれば、1日に1回診療以外のイベントがあることになります。時には休診の木曜午後では、会議が二つ続くこともあります。

仙台市医師会会長は小児科医ですが、理事に小児科医がいない期間がしばらく続きました。その間、小児医療関連の業務は他科の理事が務めてくださっていました。そのほとんどの仕事の小児科医である自分に回ってきたのです。もちろん他科の理事が楽をしているということではありませんので、念のため。医師会には会内と会外に委員会があり、会内は学校保健運営委員会委員はじめ7つ、会外は仙台市障害者施策推進協議会はじめ3つを兼務しています。9月には水痘・高齢者肺炎球菌定期接種化に伴う医師会予防接種説明会が2回あり、2回とも演壇に立ち解説をしました。仙台市障害者施策推進協議会は議論白熱で、18時半から始まった会議は議題半分で22時。食事もとらずの会議はかなり大変です。

もちろん仙台小児科医会長として行政との係わり合いも、子どものこころのケア検討委員会、児童虐待に係る医療との連携に関する検討委員会等の重要な委員会委員を務めています。

日本外来小児科学会年次集会に関しては、いずれ詳しく紹介する機会を作りますが、会議はもちろんのこと、ホームページ、F.B. ページ、

10月のお知らせ

- ・休診 17日(金)～18日(土)
十四大都市医師会連絡協議会 (広島)
- ・東北大医学部学生実習
3、24日(金)
- ・栄養育児相談
8日、22日(水) 13:30～
栄養士担当 参加無料



さらにプロモーションビデオまで自分で作っています。

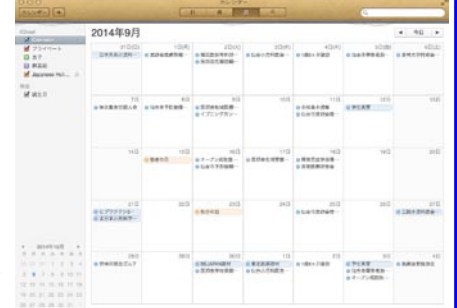
もう一度9月のカレンダーに戻って、自慢話を続けましょう。出張は大阪1回、東京2回です。大阪の出張は先月号で紹介した第24回

日本外来小児科学会年次集会です。東京はワクチン関連の講演会で、講演では無く聴衆として参加しました。出張のハードスケジュールをひとつ紹介しましょう。9月27日午後休診をいただいて、新幹線で一関、次は一関からタクシー(40km:1時間)で気仙沼へ。東北大学小児科呉教授とともに呼ばれた三陸小児科医学術講演会で、“理念から生まれた子育て支援の軌跡”を1時間講演し、教授の講演を聞き、タクシーで一関までとんぼ返り。さらに一関からは新幹線で東京へ向かい23時着。翌日関連の講演会に参加するという、まさに分刻みのタレントなみのハードスケジュールでした。

その他、東北放送“水痘ワクチン定期接種化”とBS JAPAN“マゼランの遺伝子”の取材があり、これもタレントなみでしょうか。学生実習も2回、仙台市の1歳6ヶ月健診も2回。昨年(2013)から授業に格上げされた小学4年生への性教育“赤ちゃんはどこからくるの”の授業もありました。

結局、愚痴ともつかない自慢話に終始してしまいました(笑)これだけ飛び回って忙しい思いをしていると、いいこともあります。忙しさと引き換えに、人との出会いが生まれるのです。人生の宝にはいろいろなものがありますが、人との繋がりがひとつだと思っています。ここ1ヶ月で日本医師会会長と気仙沼医師会会長と出会い、年次集会への協力との成功への励ましの言葉も頂けました。そんな多くの人との繋がりが、この先の人生を助けてくれると信じているので、忙しい思いも厭わないで泳ぎ続けているのです。時々自分のことをマグロと表現することがあります。マグロは泳ぎをやめて止まってしまうと呼吸ができなくなって、本当に死んでしまうそうです。もう一つ、“人生は忙しいうちが華”という言葉もあります。しばらくの間は、花束を抱いたマグロとして泳ぎ続けることにします。

仕事が増えれば、また新たな仕事生まれてきます。そうなればなるほど、平日の仕事も増えてきてしまいます。忙しさを理由に診療の手を抜くことはありませんが、休診等でご迷惑をおかけすることが多々あると思います。どうぞ“花束を抱いたマグロ”を思い出し、「全ては子どもたちのため」との理解を頂き、ご協力をお願いいたします。



3.11で東日本大震災から3年 “震災を忘れない!”
『がんばろう! 宮城 がんばろう! 日本』 復興支援をこれからも!

読者の広場

先月はわずか5通でしたが、ちょっとうれしいメールがありました。

まずは、青葉区の今野さんから。「いつもお世話になります。先日は「いのちの学習」授業お疲れ様でした。私も聴講させて頂きました。なかなか性教育というのは難しい問題でどうしても家族や教師からの話だと照れくさかったり、面白半分で聞いてみたりとお互いに核心に触れるのが難しいのですが、「先生」という立場からお話してもらえると子供達も素直に受け入れられるようです。(最近息子はタマタマの事を精巣と呼ぶようになりました(^_^))1度だけではなく定期的に授業をして頂けると有難いのですが...お忙しいのでそれは無理ですよね。そうそう、来年の「日本外来小児科学会年次集会」会長になられ益々お忙しいですね。私の勤めている印刷会社でも学会関係の印刷物を得意としていますので(プログラム、要旨、参加証からグッズまで)何かご用命がありましたら是非お声かけて下さい。大学生協と業務提携も有り東北大学関係からもお仕事頂いています。あ、これは営業ではありませんので、すでに印刷会社が決まっていればやぶさかではありませんが、お忙しい川村先生のお役に立てればと思ひまして...(*^_^*)名刺だけでもオッケーですよ(顔写真入りのとが♪)突然夜分に失礼致しました。お忙しい中くれぐれもお身体にはお気をつけて下さい。小松島小学校では7年前始まった4年生への性教育が、昨年からは授業となりました。伝えることは「いのちの大切さ」です。このような活動を通して、いじめや虐待防止に繋がることを願っています。年次集会への気遣いもありがとうございます。



続いては東京に転居した円谷さんから。「お世話になっております。先週は漢の熱を診ていただきありがとうございました!あれから一日で下がり、元気に保育園に行けました。仙台で初めての子育てでしたがもし病気やけがをしても先生が居るから、と、心強い2年半でした。子供のことだけではなく、私のことも気にかけて下さり、元気の出る言葉も沢山頂きました。東京で川村先生のような小児科医に巡り会えるか心配です。また何か不安なことなど出て来た時には相談させて頂けると嬉しいです。本当にありがとうございました! P.S. 早口ですが『かわむらせんせ、いつも、ありがとう』と言っております。もうひとり登米市に転居した菅野さんから。「かわむら先生、スタッフの皆様ご無沙汰しております。菅野悠太と蓮の母です。先日、紹介状を書いて頂いた八木小児科に行ってきました。紹介状のおかげで何も問題なく受診が終わりました。先生も仙台に17年間住んでいたそうで、どこに住んでいたの?など色々とお話することができました。ただ、仙台よりも佐沼のほうが喘息がひどいと、特にこれから稲刈りの時期は気をつけたいといわれました。今のところ悠太は大丈夫ですが、季節が季節なので朝晩とパルミコートをしています。ひどくならないことを願うばかりです。最後になりましたが、急な引っ越しにもかかわらず、お忙しい中すぐに紹介状を書いて頂きありがとうございました。

・水痘ワクチン定期接種化のお知らせ

1・2回目 生後12～36月 2回

特例措置 生後36～60月 1回(～H27.3.31)

対象年齢であっても、水痘罹患歴、過去の接種により対象外または回数の制限があります。詳しいことは受付で確認ください。

・急患センター移転のお知らせ

11月2日(日)9:45から新市立病院に移転し、仙台市夜間休日子ども急病診療所になります。

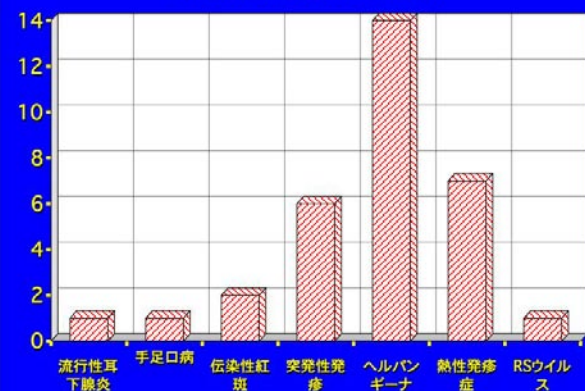
インフルエンザワクチン予約開始

13歳未満2回 13歳以上1回

料金(1回)3200円(消費税込)

インフルエンザワクチンの季節になりました。早い接種は免疫の持続に問題があるので、10月20日(月)から接種を始めます。早めの予約をお願いします。

9月の感染症の集計



先月は特に流行している感染症はありません。ヘルパンギーナが夏が終わってもまだまだとでているのが特徴です。グラフには示していませんが、下痢が多い印象があります。季節の変わり目で止りにくい咳が目立ってきました。喘息にも季節柄要注意です。

どこの小児科にいったらいいの?という心配や不安がない状態で引っ越すことができました。また、何かの機会にお世話になることがあるかもしれませんが、その時はどうぞよろしくお願い致します。」。毎回同じこと書きますが、かかりつけは、転居してもかかりつけなのです。仙台で学んだことを活かし、困ったことがあればいつでも相談できる。それが本当のかかりつけなのでしょう。

Mail News, Twitter, Blog, Facebook の紹介

Mail News は、490人を超えるお母さんが登録。右上のQRコードから登録できます。件名を「登録希望」とし、登録者の名前とお子さんの名前を記載し送信してください。

新しい情報発信として Twitter、Blog「子どもクリニック四方山話」、Facebook ページ、YouTube にも取り組んでいます。子育て、医学、趣味、グルメ、旅行記等のおもしろい話題満載。見るだけでも楽しいかもしれません。是非ご覧ください!

Mail News かなり戻ってきます。届かない場合は kodomo-clinic.or.jp をドメイン指定して下さい。不明な点は受付まで問い合わせ下さい。



MailNews



Twitter



Facebook



Blog

編集後記

またまた忙しさ自慢を書いてしまいました。忙しさは、実は自分から招いているのでしょう。簡単に引き受けなければ、次はまわってきません。でも断れば、依頼した人が困る。次にまわった人が困る。そんな理由で受けてしまうのです。頼られれば頼られるほど、一生懸命になってしまうのです。性格だから変えられないのでしょう。



K's clinic

麻しん風しんぜ口作戦キャンペーン 『1才のお誕生日にMRワクチンを!!』

『お母さんクラブ』現在会員を募集中です。参加希望は受付まで。